

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名 称：急激に変わりゆく地球環境と国際情勢：地球惑星科学の  
国際連携・国際協調
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：日本地球惑星科学連合（後援）
- 3 開催日時：令和7年7月12日（土） 13時00分～17時30分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）

5 開催趣旨：

我が国の科学者は、日本学術会議が代表機関となり、国内を取りまとめるアカデミーとして40余りの国際学術団体に加入することで、多くの専門家が各団体の総会等の国際会議に日本学術会議の代表として派遣し運営・審議に参画し、国際連携で純粋な学術のみならず人類が直面する様々な課題の解決に向けて活動を行っている。特に地球惑星科学分野は我々の住む地球や近宇宙空間の科学を研究対象としており、人類の生存に深く関わる様々な貢献をしていることが特徴であり、12もの国際学術団体に加入して我が国の存在感を示している。近年、急激な地球温暖化が進み将来の生存が危惧されており、その対策は待ったなしの状況である。一方、国際情勢も大きく変わって国家間の対立が顕在化し、国や地域を超えた国際協力や国際連携が難しくなっている状況である。このような局面を迎え、地球惑星科学分野の様々な学術団体はどのように連携を維持・深化させ、日本はどのような貢献を果たしていくべきか、そして我が国の次世代を含む将来の人類にどのように責任を果たすべきか、様々な分野での国際連携を俯瞰することで国民の皆様と共に考える場を提供することを趣旨とした。

6 参加人数：

講演者等23名 現地一般参加者17名  
その他の参加者：最大同時視聴者数109名

7 特記事項：

本学術フォーラムの概要報告を日本学術会議ホームページに掲載する（学術フォーラムのプログラム等の掲載のあるページ）とともに、後援団体である日本地球惑星科学連合の機関誌「日本地球惑星科学連合ニュースレター誌（JGL）」に掲載する予定である。また、今回話題提供のあった国際学術団体について、それぞれの講演の原稿を集めて投稿出版することも検討中である。